

公表 2025年度 事業所における自己評価結果

事業所名 船橋青い空こどもクリニック併設
「虹の教室」(児童発達支援)

公表日 2026/6/30

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	・利用定員が日々増減するが、常勤+パートタイムのスタッフで国の基準を満たす人員配置を行っている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	・避難訓練などを通して、災害時に個々の子どもがスムーズに移動できるよう検討している。 ・動きの大きいお子さんと小さいお子さんとで教室を分け、安全を確保している。	・(施設が2Fにあるので)避難が必要な際は、階段を下りて避難する必要がある。避難訓練を通じて緊急時の段取りを体で覚える必要がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		・「体を思いきり動かす」ということについてはスペースの制約もあり、難しい面はある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	5		・限られたスペースをどう活用しているか今後も話し合って工夫する必要がある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	3	・PDCAサイクルを心がけ、週に1回ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを行っている。	・定例MTGは、勤務の都合上、スタッフ全員が毎回揃うのは難しい。時間の制約もあり振り返りが十分にできないと感じることもあるので効率的な時間活用を引き続き検討していきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・ホームページで評価、公表を行っている。引き続き検討、改善に繋げていきたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	・職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7	・現在は利用者と事業所内の評価のみとなっている。	・第3者評価の実施については今後の検討が必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めている。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・支援プログラムを作成しホームページにて公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	・面談に基づいた支援計画を立てている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	・週1回のカンファレンスで情報共有している。 ・必要に応じて個別の検討も実施している。 ・児童発達支援事業所用の情報管理システムを利用し情報を共有している。	・パートタイムのスタッフは、シフト制のため、全ての職員での議論が常時できるわけではない。共通理解をいかに高めていくかは常に意識する必要がある。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3	・児童発達支援事業所用の情報管理システムを利用し情報を共有している。	

の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・子ども一人ひとりが楽しみながら発達段階に応じた支援を受けられるプログラムの立案に努めたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	・個々の特性やその時の状況に合わせた支援が行えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	5	・適宜意見交換をしている。 ・児童発達支援事業所用の情報管理システムを利用し情報を共有している。	・勤務終了時間がスタッフによって異なるため、ツールを活用するなど常に工夫が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・児童発達支援事業所用の情報管理システムを利用し情報を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		・医療は、同じ敷地に小児科があるので、連携できている。保育園や幼稚園ともよりスムーズに連携できるように取り組みたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	6			
関係機関や保護	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	7		・以前とは異なり、保育所と当施設の両方を利用する子が多くなり、必然性が薄れている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		

者との連携	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		・プログラムとしてのペアレントトレーニングの導入については、今後必要に応じて検討していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0			
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		・送迎の際にも一人ひとりの保護者としっかいコミュニケーションを図り、加えて面談も定期的に設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	1		・保護者会を開催して交流の機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2		・児童発達支援事業所用の情報管理システムを利用し保護者に対して写真付きの活動報告を実施している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7		・今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めていきたい。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		避難訓練は、テーマや課題を決めて随時実施している。
		46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		・火災、地震を想定した避難訓練や引き渡し訓練を行っている。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0			
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1			
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		・定期的にカンファレンスを行っており、事例の共有を図っている。参加できない時にも議事録で周知されている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	3		・今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めていく。		